

決算説明会

2007年 (平成19年) 3月期

株式会社ケンウッド
代表取締役社長 兼 CEO
河原 春郎

2007年5月16日

目次

1. 2007年3月期決算概要
2. 2008年3月期の取り組み
3. 2008年3月期業績見通し

【注意】

本資料中の将来への見通しに関する記述・図表などは、当社グループが現時点で入手可能な情報から得た判断に基づく将来の予想および目標であり、実際の結果は、様々な要素により、これらの見通しとは大きく異なる可能性があります。

【資料中の略語】

CE :カーエレクトロニクス COM :コミュニケーションズ HE :ホームエレクトロニクス

1. 2007年3月期決算概要

1. 2007年3月期決算概要 **連結損益**

【売上高】

CE事業とHE事業の売上減少により、前期比7.9%減（約144億円減）

【営業利益】

CE事業の損益悪化により、前期比35.3%減（約31億円減）

【経常利益】

営業利益の減少により、前期比52.1%減（約25億円減）

【当期純利益】

経常利益の減少と特別利益の大幅減少により、前期比74.0%減（約45億円減）

連結PL

（億円）

	'06/3期実績		'07/3期実績		前期比		期初予想	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	率	金額	利益率
売上高	1,836		1,692		-144	-7.9%	1,850	
営業利益	87	4.7%	56	3.3%	-31	-35.3%	90	4.9%
経常利益	49	2.7%	23	1.4%	-25	-52.1%	60	3.2%
当期純利益	61	3.3%	16	0.9%	-45	-74.0%	50	2.7%

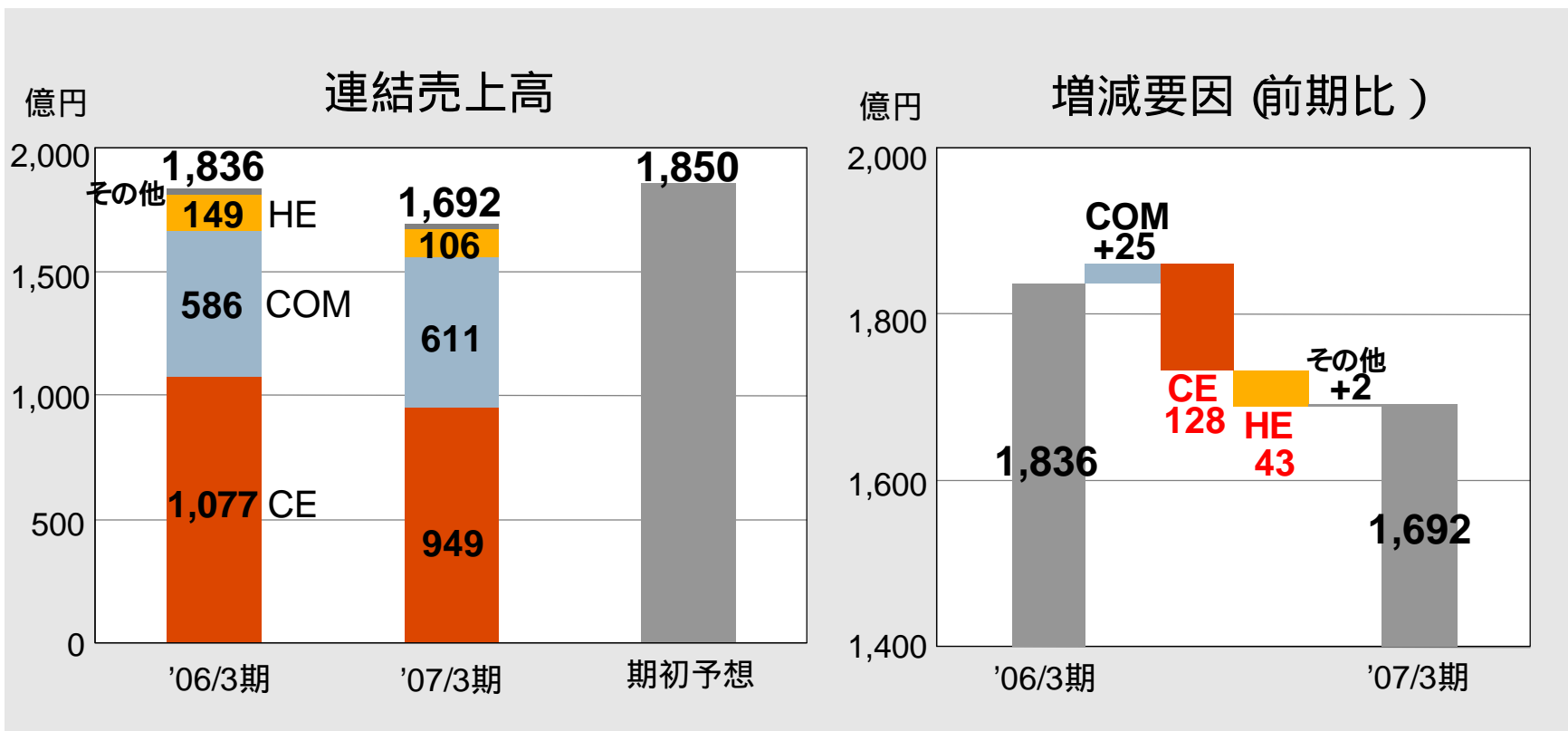
1. 2007年3月期決算概要 **連結売上高**

前期比7.9%減収

* COM事業 前期に引き続き増収

* CE事業 市況悪化や自動車販売動向の影響を受けて大幅減収

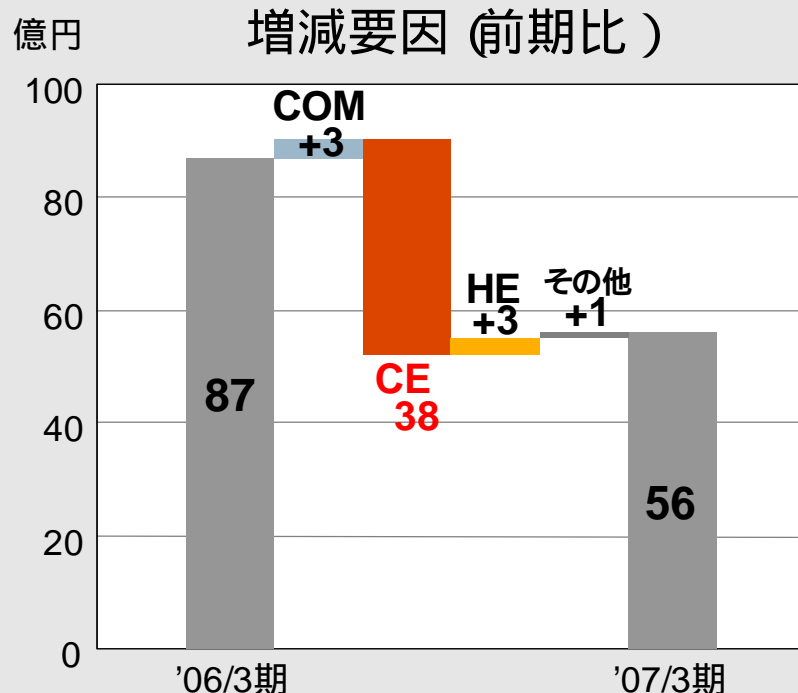
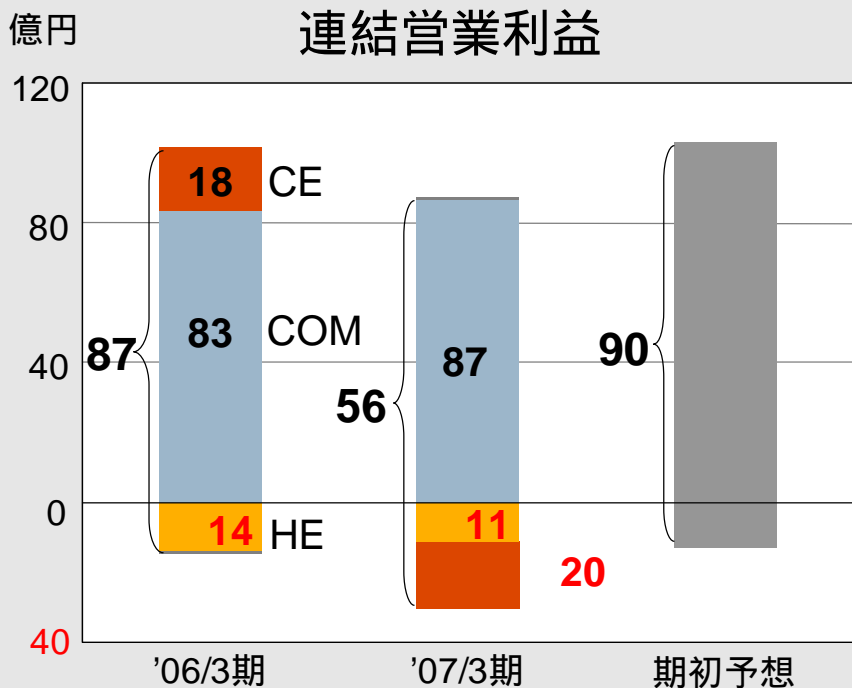
* HE事業 戦略転換の影響などにより、計画どおりながらも大幅減収



1. 2007年3月期決算概要 **連結営業利益**

前期比35.3%大幅減益

- * COM事業 売上拡大の効果により増益
- * HE事業 戦略転換の効果により、売上が減少する中でも損失縮小
- * CE事業 市販 (マルチメディア) 分野の戦略開発投資負担、市販 (オーディオ) 分野の競争激化と価格下落、OEM分野の先行開発費計上の影響で大幅減益

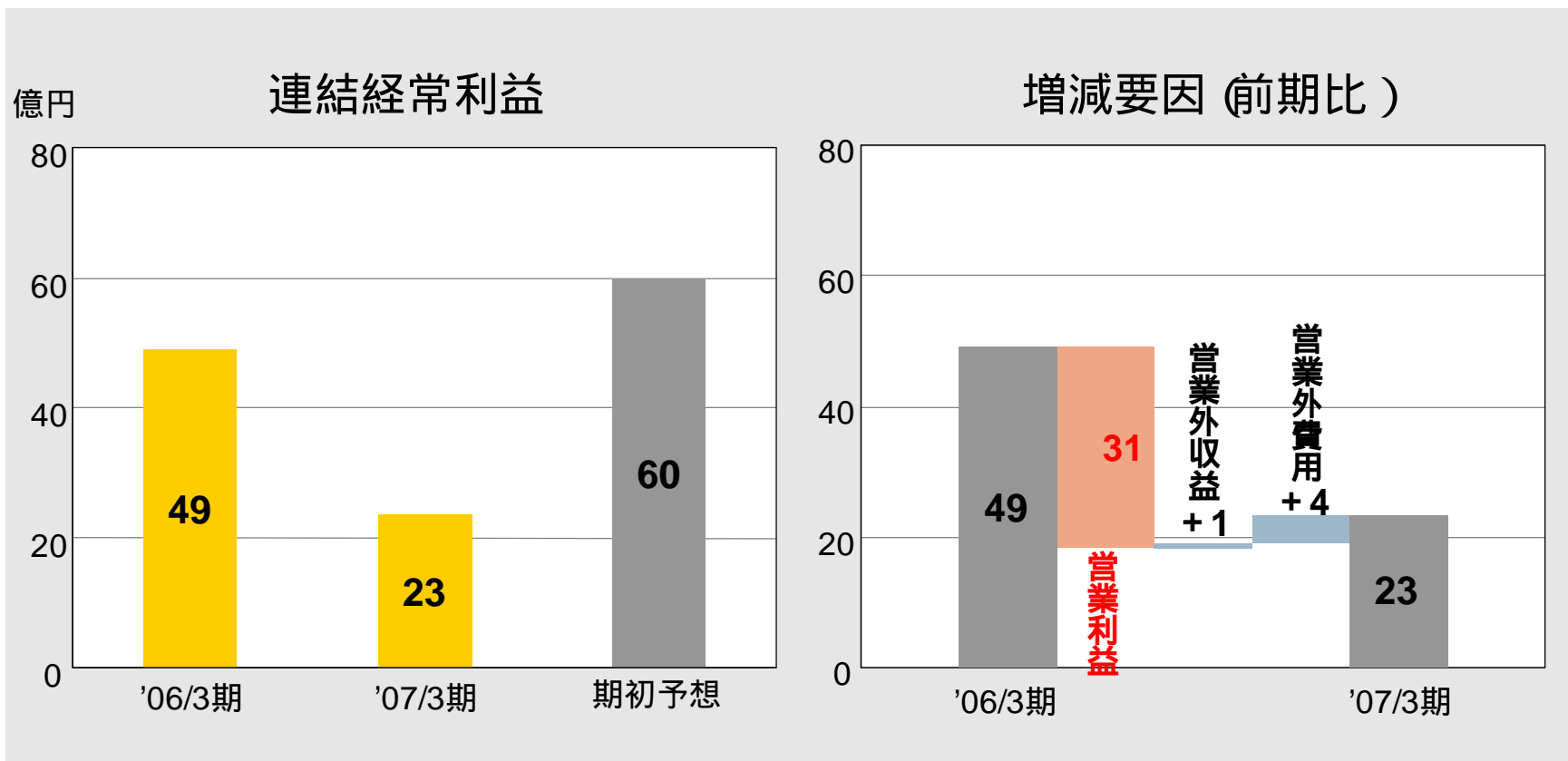


1. 2007年3月期決算概要 **連結経常利益**

前期比52.1%大幅減益

* 営業利益減少の影響

* 前期の資産構造改革によって営業外費用は減少



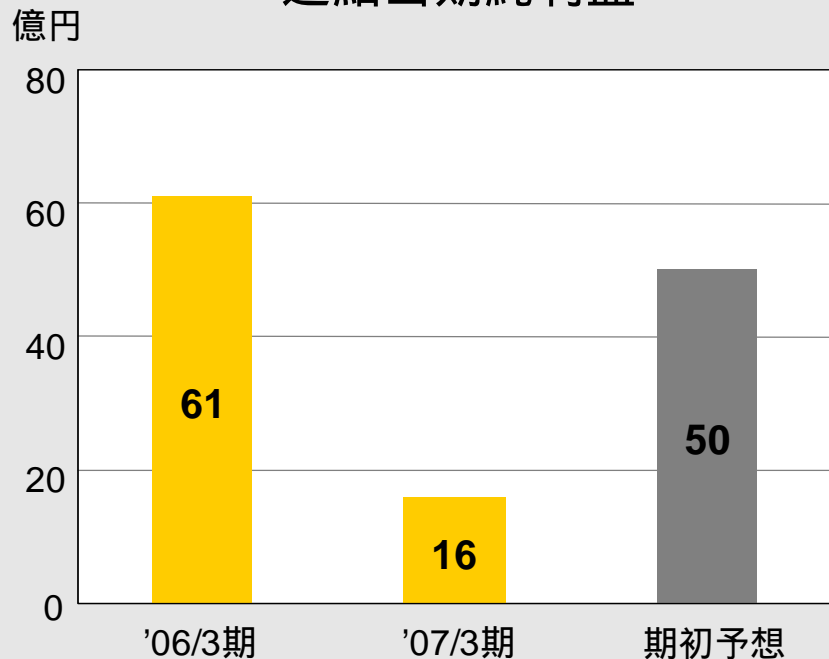
1. 2007年3月期決算概要 **連結当期純利益**

前期比74.0%大幅減益

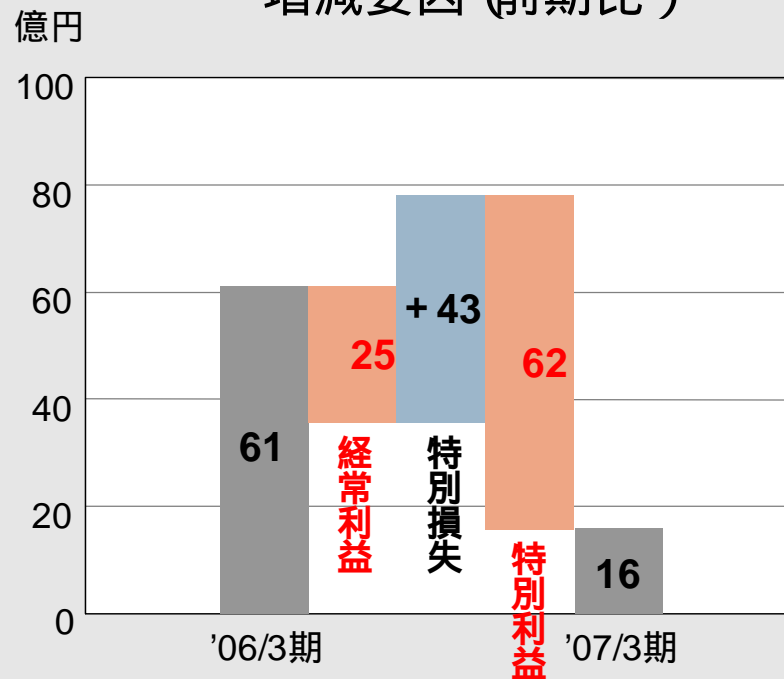
* 経常利益の減少と前期に約67億円計上した一過性の特別利益が当期は6億円にとどまった影響

* 前期の資産構造改革によって特別損失は減少

連結当期純利益



増減要因 (前期比)



1. 2007年3月期決算概要 財政状態

【バランスシート】

当期末のバランスシートは前期に引き続き健全化

主な関連指標の推移

	'03/3期末	'04/3期末	'05/3期末	'06/3期末	'07/3期末
総資産 (億円)	1,421	1,358	1,161	1,096	1,112
有利子負債 (億円)	809	673	311	263	238
ネットデット (億円)	501	299	151	122	68
純資産 (億円)	137	202	331	375	391
自己資本比率 (%)	9.6	14.9	28.5	34.2	35.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	28.1	52.2	60.6	91.5	59.1
1株当たり純資産 (円)	53.74	23.03	66.29	101.97	106.46
利益剰余金 (億円)	342	98	132	183	191
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	780.6	244.6	200.1	207.4	207.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	3.1	12.6	13.6	19.9	22.4

セグメント情報

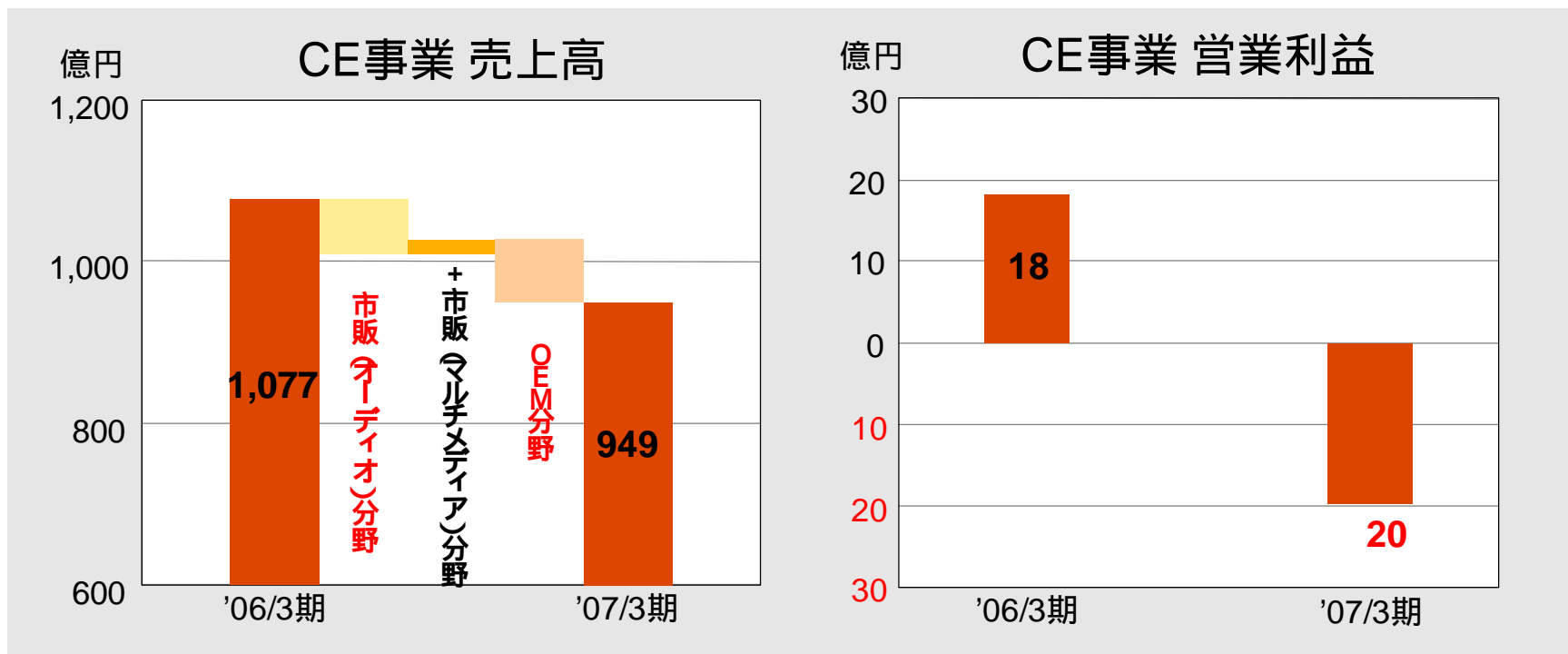
1. 2007年3月期決算概要 **CE事業**

売上高】前期比11.9%減収の約949億円

- * **市販 (オーディオ) 分野**は旧製品販売終息の遅れと市況悪化の影響により、**OEM分野**は自動車販売動向や納入車種販売終息の影響により大幅減収

営業利益】前期比208.1%減益の約 20億円

- * **市販 (オーディオ) 分野**は市況悪化と価格下落の影響により、**OEM分野**は売上減少と新製品の先行開発費計上の影響により大幅減益



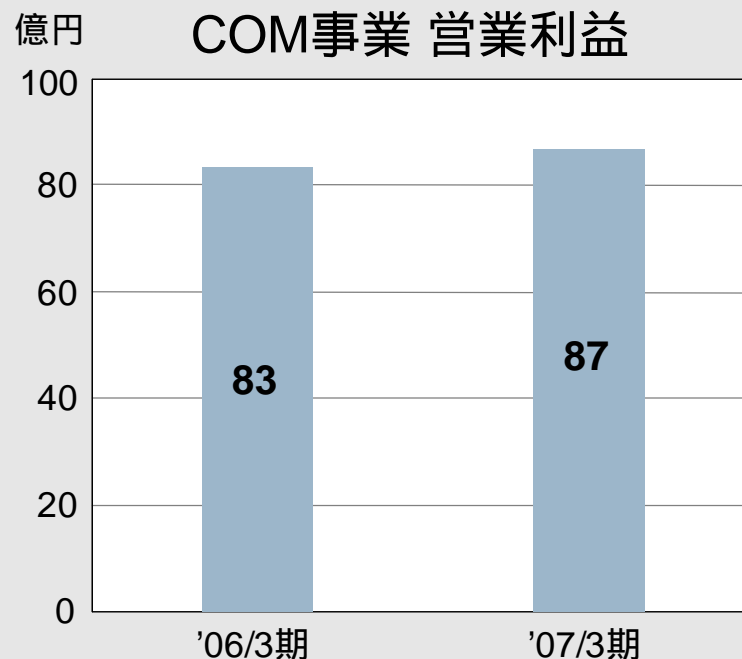
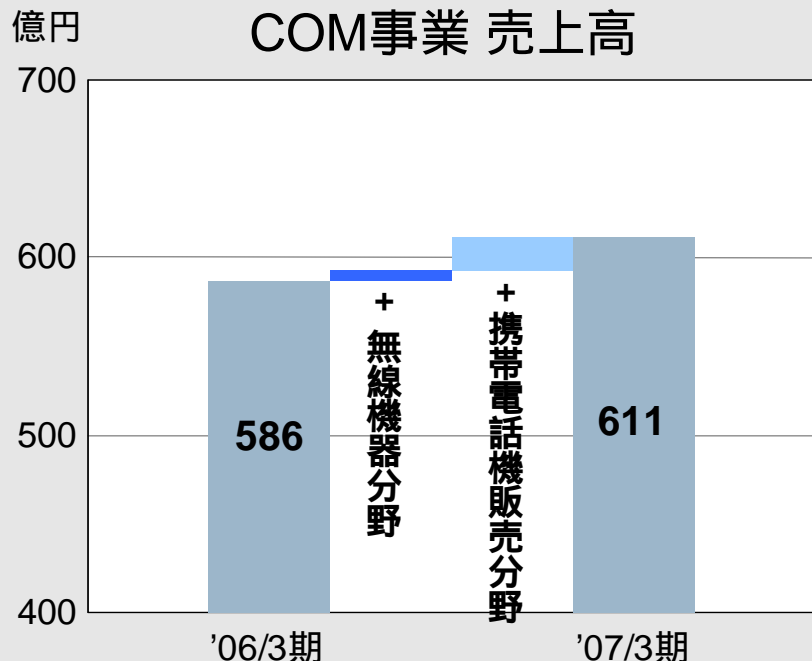
1. 2007年3月期決算概要 **COM事業**

売上高】前期比4.2%増収の約611億円

- * 無線機器分野は米国市場の好況と、欧州・新興市場での販売増により売上拡大
- * 携帯電話機販売分野も携帯電話事業会社の積極施策などにより売上伸長

営業利益】前期比4.0%増益の約87億円

- * 無線機器分野の戦略開発投資負担があったものの、増収効果により増益



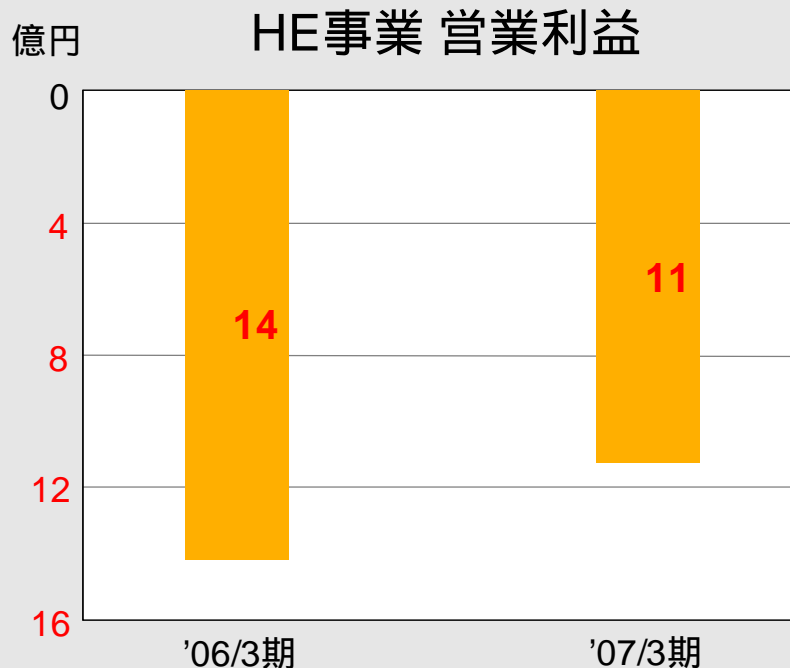
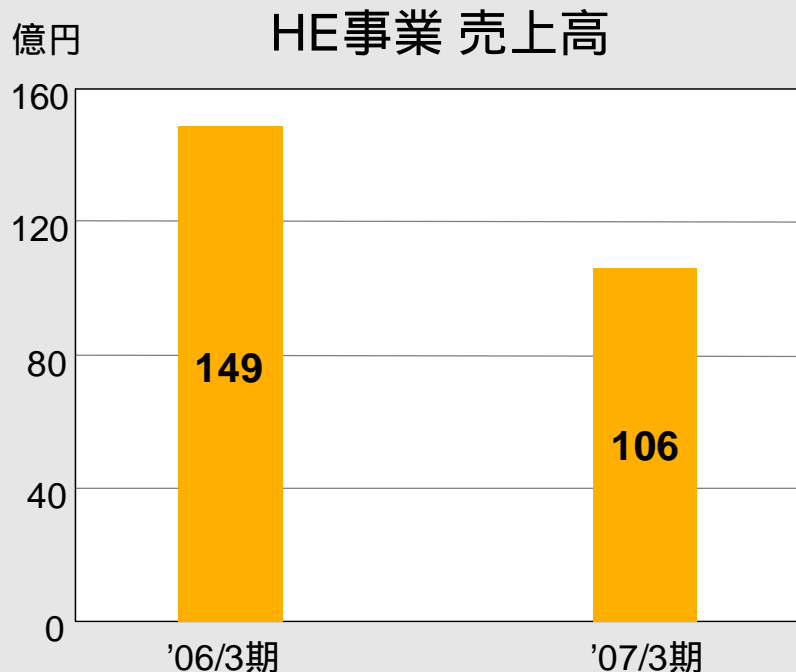
1. 2007年3月期決算概要 HE事業

【売上高】前期比29.0%減収の約106億円

* 戦略転換によるホームシアター分野縮小と従来型オーディオ製品絞り込みの影響 (ほぼ当初計画どおり)

【営業利益】前期比20.8%損失減の約 11億円

* 戦略開発投資負担があったものの、戦略転換による損益改善と新プレミアム製品群のラインアップ拡充による損益貢献により損失減少

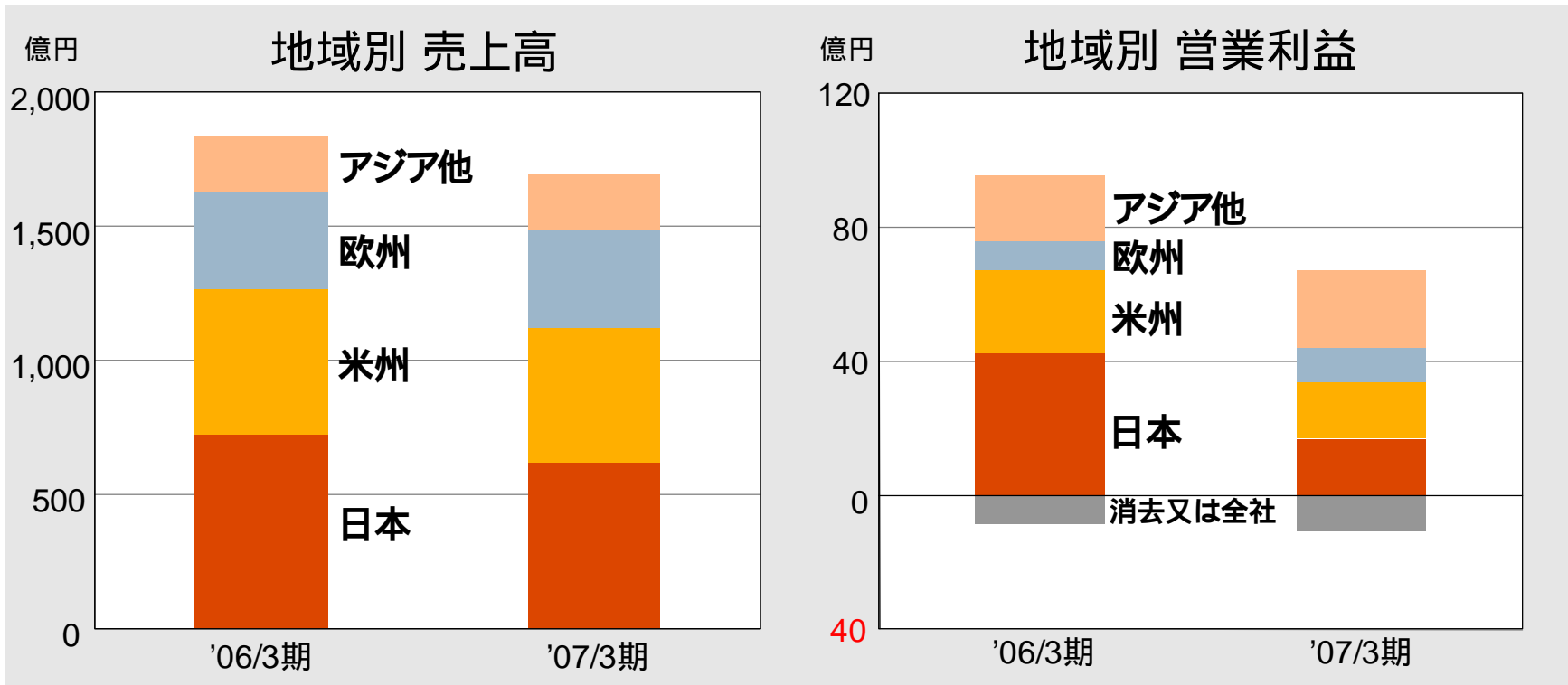


1. 2007年3月期決算概要 地域別売上高・営業利益

【米州】 CE市販 (オーディオ) 分野の売上減少により減収減益

【欧州】 COM事業、CE市販 (マルチメディア) 分野の売上拡大により増収増益

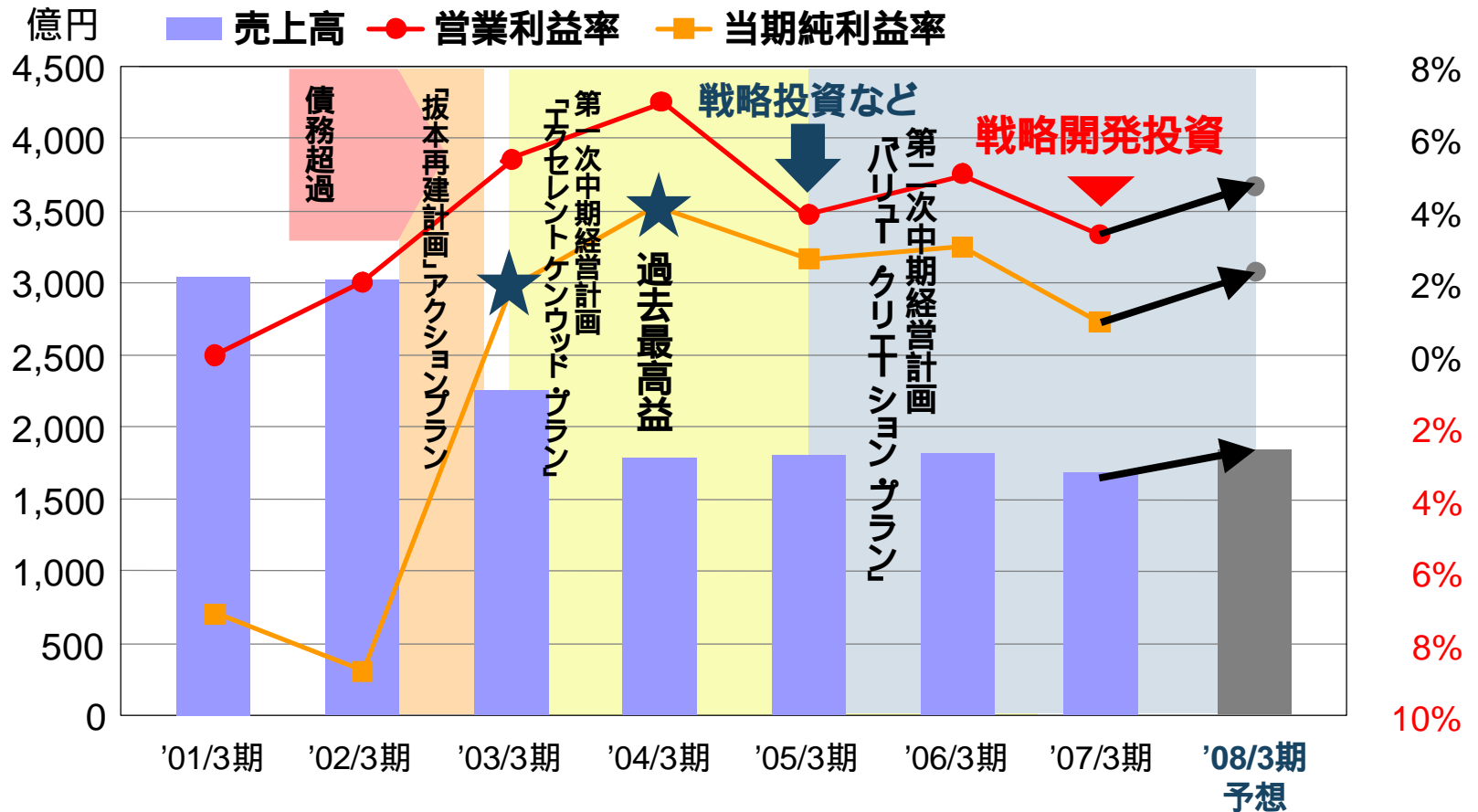
【日本】 CE OEM分野、CE市販 (オーディオ) 分野の売上減少により減収減益



2. 2008年3月期の取り組み

2. 2008年3月期の取り組み

戦略開発や事業提携、M&Aなどの施策の成果が顕在化し、'07年3月期を底に増収増益へ



2. 2008年3月期の取り組み

'07年3月期 戦略開発投資」の成果を顕在化

'07年3月期は、次世代の新商品戦略の展開をはかるため、例年並みの研究開発に加えて戦略開発投資を推進

- * 国内・海外市販市場向けカーマルチメディア製品の戦略開発
- * 自動車メーカー向けカーマルチメディア製品の先行開発
- * CEとHEの統合による「シームレス・エンターテイメント・ワールド」の構築
- * 業務用無線機器分野における新デジタル方式・端末の研究開発と端末からシステムソリューションへの質的拡大に向けた事業提携など



左 国内向けAV一体型ナビ
(ワンセグTVチューナー内蔵)
右 海外向けAV一体型ナビ
(オールインワンタイプ)



デジタル業務用無線機器



シームレス・エンターテイメント・ワールド

(1) 現行事業の再構築と成長戦略

2. 2008年3月期の取り組み

CE事業 - 市販 (オーディオ) 分野

- * 徹底したコストダウンによる収益構造改革
- * 提案型製品群の世界市場への本格展開
- * BRICsを中心とした新興市場開拓

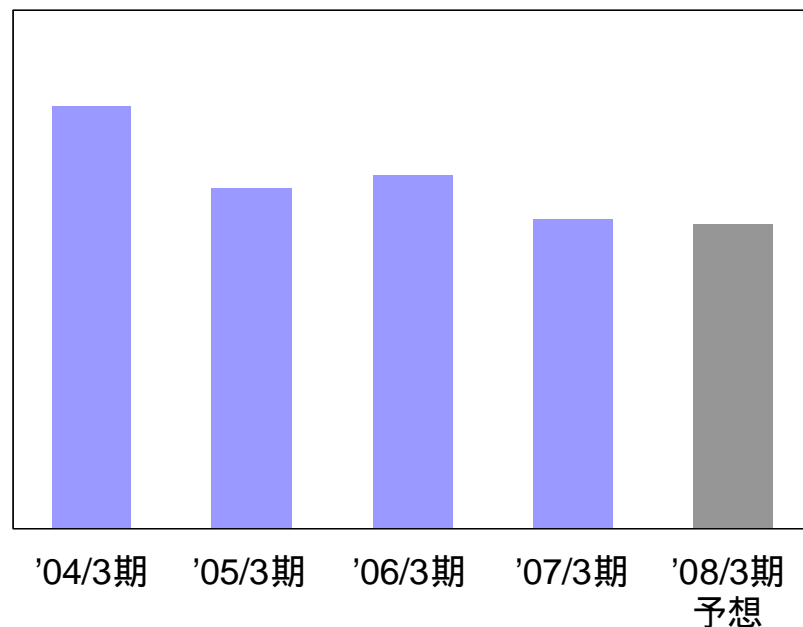
デジタルメディアとのシームレス化
を進めた中高級モデル



純正AV製品の機能拡張を可能にするシステム



連結売上高の推移



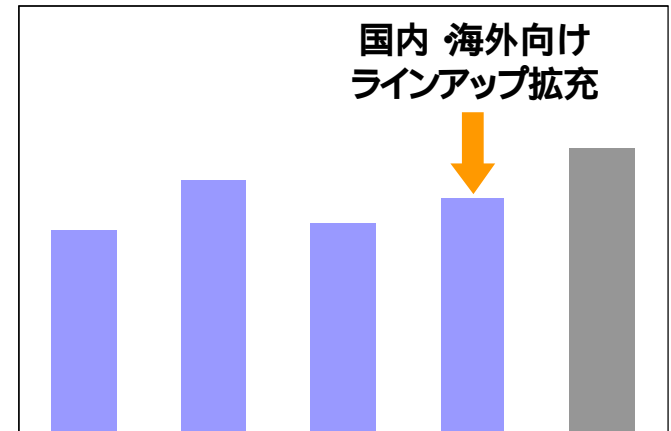
2. 2008年3月期の取り組み

CE事業 - 市販 (マルチメディア) 分野

- * 海外向け新コンセプトナビの世界展開とラインアップ拡充 (オールインワンタイプの追加) の成果
- * 国内向け地デジ/ワンセグTVチューナーおよび新AV一体型ナビ (ワンセグTVチューナー内蔵タイプなど) のラインアップ拡充の成果
- * 独ボッシュグループとのグローバルポータブルナビの共同開発 (08年商品化予定)



連結売上高の推移



国内向けAV一体型ナビ
(ワンセグTVチューナー搭載)

地上デジタルTVチューナー
(ワンセグTVチューナー)



海外向け新コンセプトナビ

(左:アトオンタイプ、右:オールインワンタイプ)

2. 2008年3月期の取り組み

CE事業 - OEM分野

- * 純正モデル新製品の投入
- * ディーラーオプションモデルの販売拡大
- * コンポーネント(DVD・CDドライブメカなど)の受注回復



純正モデル



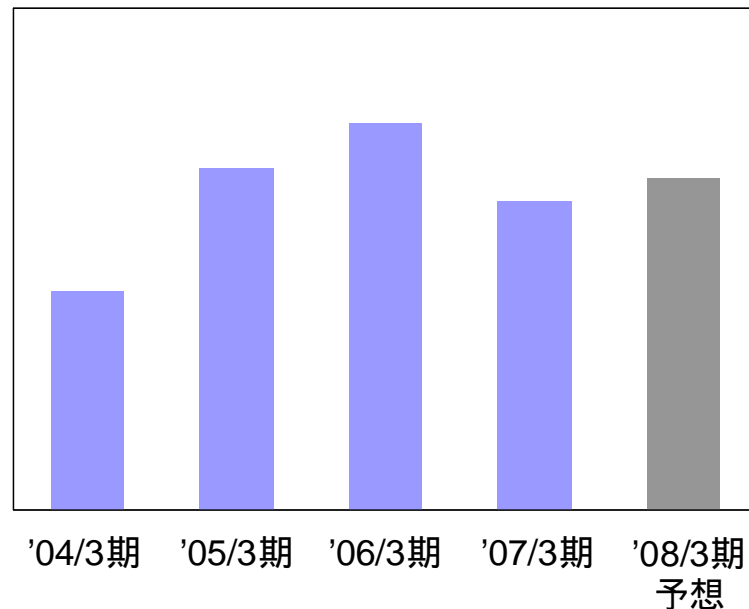
DVDメカ



軽自動車・小型車向け
メモリーナビ内蔵CDレシーバー
(ディーラーオプションモデル)



連結売上高の推移



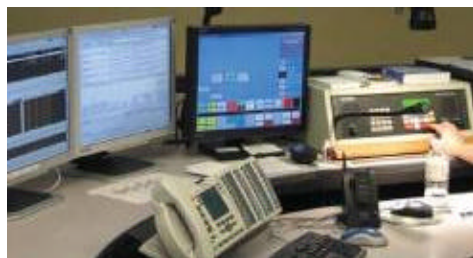
2. 2008年3月期の取り組み

COM事業

- * デジタル業務用無線機器の市場投入拡大
- * 無線端末からシステムソリューションへの質的拡大を目指した取り組みの推進
- * 新デジタル無線方式に関する研究開発の推進



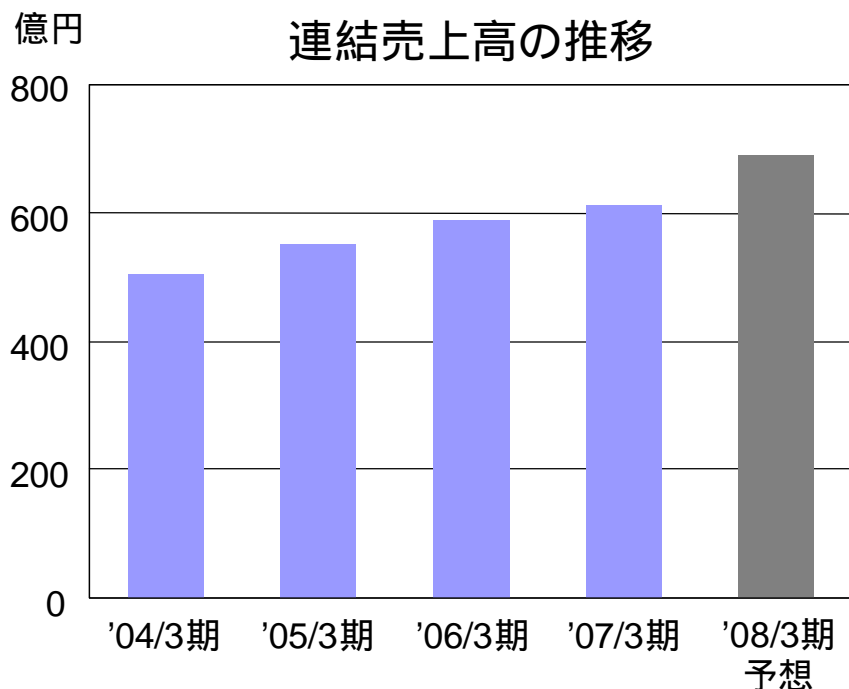
デジタル業務用無線機器



コンソール



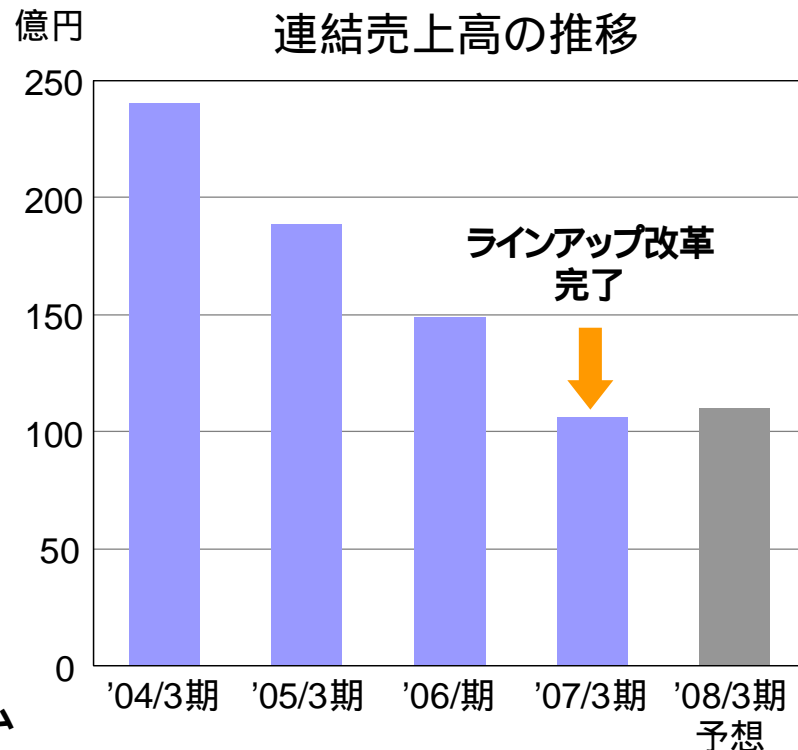
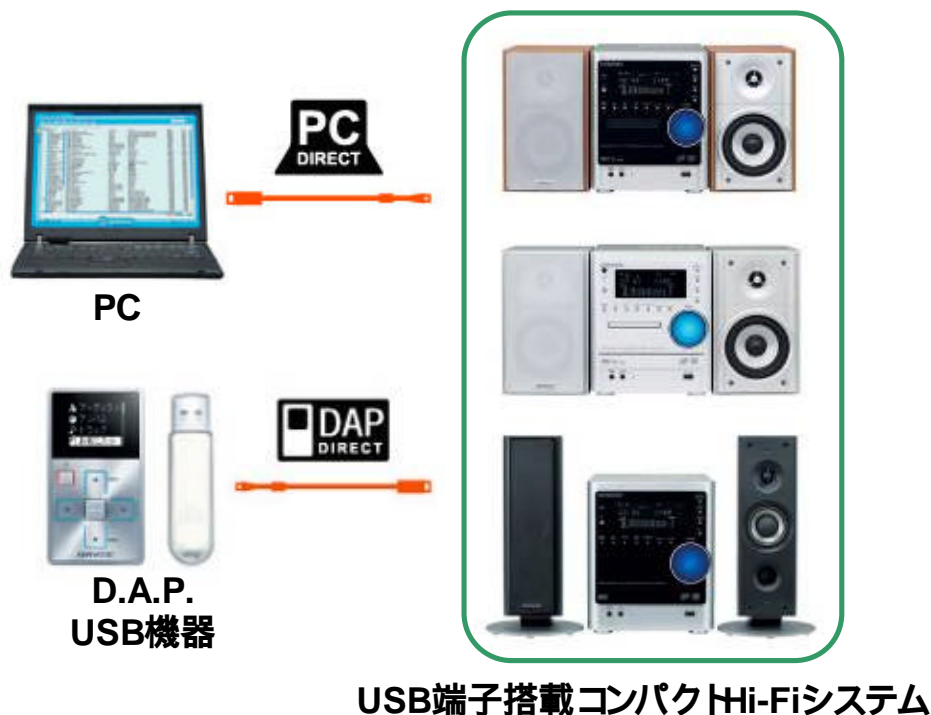
コントローラー



2. 2008年3月期の取り組み

HE事業

- * 新プレミアム製品群のラインアップ拡大の成果 (ロングテール戦略)
- * 携帯用、家庭用、車載用機器のシームレス化推進による「シームレス・エンターテインメント」の具現化推進



②) 事業提携やM&Aによる成長戦略

2. 2008年3月期の取り組み

COM事業 - Zetron社の子会社化完了

無線端末からシステムソリューションへの質的拡大

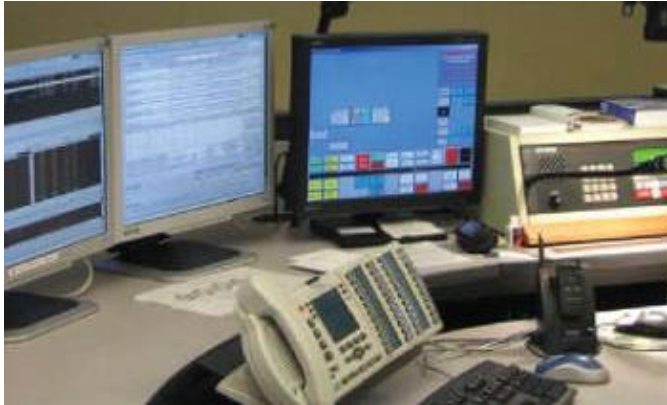
* 米国無線通信システム事業会社Zetronの子会社化
(07月5月10日)

ターンキーシステム (無線通信トータルシステム) の受注拡大へ



無線通信システムの一例 (公共安全管理通信システム)

Zetron社製 基地局
コンソール



Zetron社製 基地局
コントローラー



ケンウッド製
無線システム



基地局システムの一例



2. 2008年3月期の取り組み

COM事業

デジタル業務用無線機器事業の基盤形成

- * アイコム社、欧州無線会社と共同で任意団体を発足（07年3月）
欧州の民間企業向けデジタル業務用無線システム標準規格制定を推進
- * 欧州航空宇宙防衛大手EADS社（エアバス親会社）グループと提携（07年3月）
北米公共安全向けデジタル業務用無線機器の販売拡大を推進

新組織体制による新しい事業拡大の方向性

- * 東洋通信機から譲り受けた無線事業
- * ケンウッド・コアが手がけるRFID事業などのシステム事業

2. 2008年3月期の取り組み

CE事業

市販 (マルチメディア) 分野、OEM分野の売上・収益成長をめざす

- * デンソー社とのOEM純正ナビ共同開発
- * 米ガーミン社との新コンセプトナビ共同開発
- * 独ブラウプункト社 (ボッシュグループ)とのポータブルナビ共同開発



2. 2008年3月期の取り組み

コア事業を中心とする現行事業を新たな成長へ

これからの会社の経営を次世代の経営者に託し、新たに会長職を設けて中長期的な将来への企業価値拡大へ向けた戦略的なイニシアチブを強化し、企業の成長を加速



代表取締役の異動 (6月28日付予定)

代表取締役会長

河原 春郎

(現役職 :代表取締役社長 兼 CEO)

代表取締役社長 兼 CEO 塩畑 一男

(現役職 :取締役)

3. 2008年3月期業績見通し

3. 2008年3月期業績見通し **連結損益**

売上高】戦略開発や事業提携、M&Aなどの施策の成果が顕在化することから、8.2%増収の1,830億円を見込む

営業利益】諸施策の成果により各事業で収益拡大あるいは損益改善が進むことから、47.8%増益の83億円を見込む

経常利益・当期純利益】一過性の営業外損益、特別損益が発生する予定がないことから、それぞれ113.8%増益の50億円、152.2%増益の40億円を見込む

連結損益

(億円)

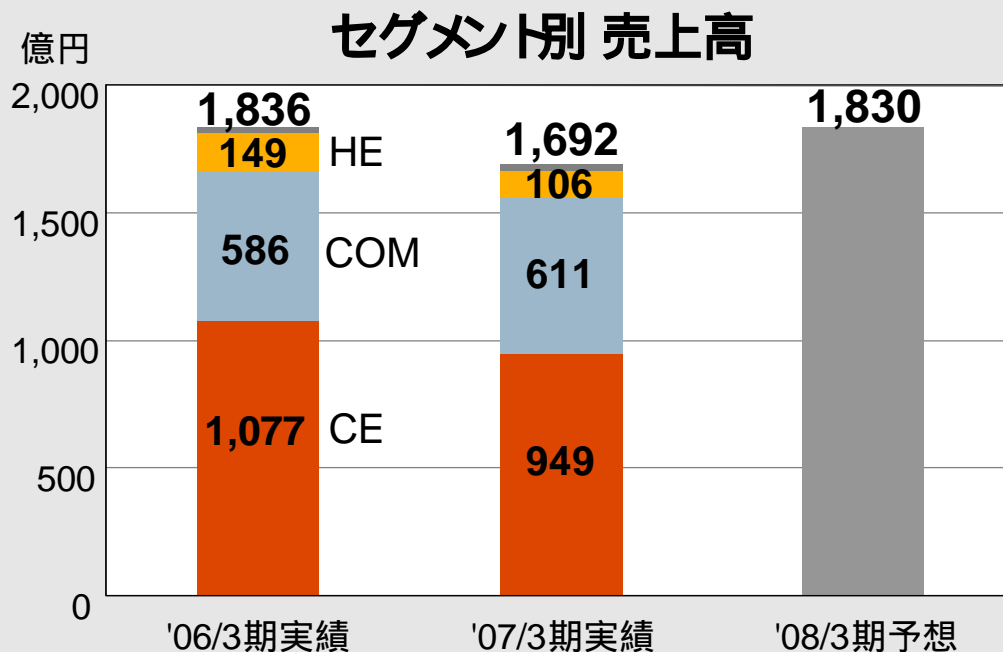
	'06/3期実績		'07/3期実績		'08/3期予想		前期比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	率
売上高	1,836		1,692		1,830		+138	+8.2%
営業利益	87	4.7%	56	3.3%	83	4.5%	+27	+47.8%
経常利益	49	2.7%	23	1.4%	50	2.7%	+27	+113.8%
当期純利益	61	3.3%	16	0.9%	40	2.2%	+24	+152.2%

3. 2008年3月期業績見通し **連結売上高**

【CE事業】市販 (オーディオ) 分野では提案型新製品群の寄与や新興市場開拓の成果、市販 (マルチメディア) 分野ではラインアップ拡充の成果や販売地域拡大の効果、OEM 分野では新製品の寄与などを見込む

【COM事業】無線機器分野、携帯電話機販売分野の好調に加え、デジタル業務用無線機器の市場投入拡大の成果やZetron社の子会社化による売上拡大などを見込む

【HE事業】新しいプレミアム新製品群のラインアップ拡充の成果などを見込む

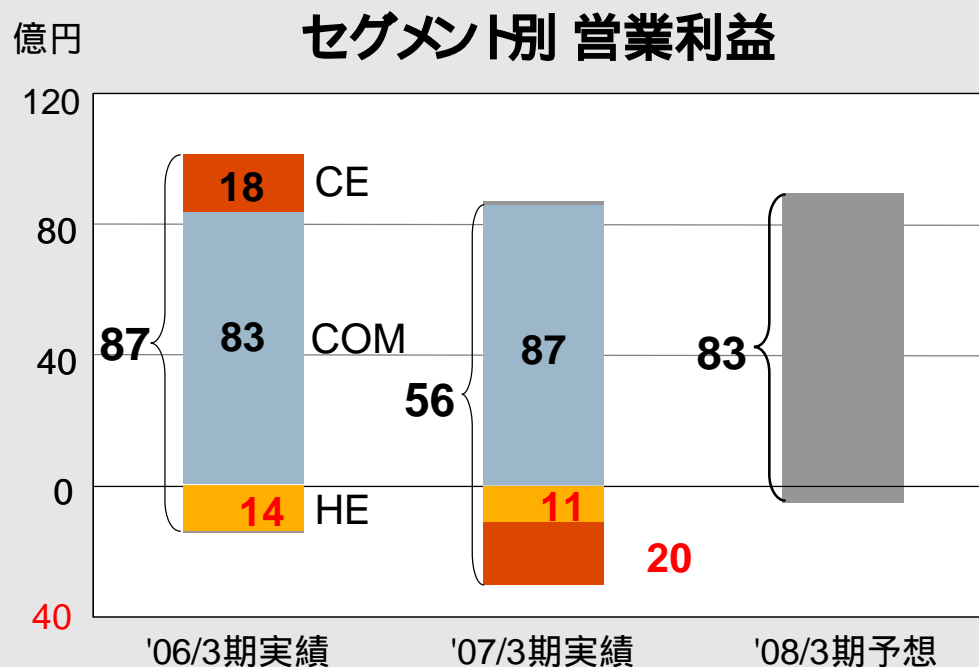


3. 2008年3月期業績見通し **連結営業利益**

【CE事業】市販 (オーディオ) 分野では提案型新製品群の寄与やコストダウン、新興市場開拓の成果、市販 (マルチメディア) 分野では販売拡大の成果や戦略開発投資の一巡、OEM分野では新製品投入の効果と先行開発費負担の軽減などを見込む

【COM事業】デジタル業務用無線機器の市場投入拡大やZetron社の子会社化の成果などを見込む

【HE事業】従来型モデル絞り込みやプレミアム新製品群拡充の成果などを見込む





KENWOOD

Listen to the Future